

問1 北米大陸西海岸のカリフォルニア州付近は、大学や企業が集まる先端技術の拠点として知られています。この地域の産業発展を支えた仕組みや背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 広島公立入試 類似）

1. 近隣の有力大学から供給される高度な専門知識を持つ人材や、研究成果をビジネスに活用するベンチャーキャピタルが充実していたこと。
2. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石と石炭を効率よく輸送できる水運が整備され、重工業の原材料確保が容易であったこと。
3. 広大な農地を活かした大規模な灌漑施設が整備され、綿花や小麦などの農産物を加工する食品工業が中心となったこと。
4. 大西洋を挟んだヨーロッパ諸国との貿易において、地理的に最も近い位置にあり、大規模な貿易港が古くから発達していたこと。

問2 アメリカ合衆国の北緯37度付近、ロッキー山脈の東麓に位置し、標高が約1,600mに達する内陸部の都市として適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. デンバー
2. ヒューストン
3. シカゴ
4. ニューヨーク

問3 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊にあるシリコンバレーについて、この地域で急速に発展した産業の特色を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. IC（半導体）やソフトウェア開発を中心とした、知識集約型の先端技術産業
2. 五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を結びつけた、大規模な鉄鋼業
3. 豊富な労働力と広大な土地を背景とした、自動車の大量生産を行う機械工業
4. ミシシッピ川流域の肥沃な土地を利用した、綿花栽培とそれに関連する繊維工業

問4 北アメリカ大陸では、広大な国土の中で年降水量や気温などの自然環境の違いを利用し、それぞれの地域に最も適した農作物を栽培する農業が行われています。このような、環境に応じた農業地域の分化を何と呼びますか。（2026年 茨城公立入試 類似）

1. 適地適作
2. 企業的農業
3. 穀物メジャー
4. 等高線耕作

問5 北米自由貿易協定（NAFTA）が締結されたことにより、加盟国であるメキシコの経済にどのような影響を与えたか、その背景を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 関税が撤廃されたことで、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコに工場を進出させた。
2. カナダとの間で共通通貨が導入されたことにより、メキシコ国内の物価が安定し、農業の機械化が飛躍的に進んだ。
3. 域外の国々からの輸入に対して高い関税をかける共通関税制度が導入され、メキシコ独自の市場保護が強化された。
4. アメリカ合衆国からの工業製品の輸入が停止されたため、メキシコ国内の製造業が自立し、独自のハイテク産業が発展した。

問6 2000年代初頭と現在の南北アメリカの貿易状況を比較した資料によると、アメリカ・カナダ・メキシコ間での強い結びつきに加え、近年ではアルゼンチンをはじめとする南アメリカの国々と、中国などのアジア諸国との経済的な関わりが急速に強まっています。南アメリカにおいて、アルゼンチンやブラジルなどの国々が域内での経済統合を目指して結成している組織として適切なものを選びなさい。（2025年 兵庫公立入試 類似）

1. 南米南部共同市場（メルコスール）
2. 北米自由貿易協定（NAFTA）
3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）
4. ヨーロッパ連合（EU）

問7 アメリカ合衆国の小麦栽培において、比較的温暖な地域では秋に種をまき翌年夏に収穫する「冬小麦」、寒さの厳しい北部では春に種をまき秋に収穫する「春小麦」というように、地域の気候に合わせて作り分けが行われています。このように、それぞれの地域の自然条件に応じた農作物を栽培することを何といいますか。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 適地適作
2. 等高線耕作
3. 施設園芸農業
4. モノカルチャー

問8 北アメリカ大陸の西部に位置するロッキー山脈の特徴と、その周辺の地理的状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国とカナダの国境線の一部となっている北緯49度の緯線と交差している。
2. 大陸の東側に位置しており、大西洋に沿ってなだらかな標高の山々が続いている。
3. 南アメリカ大陸を南北に縦断する山脈であり、世界で最も長い山脈として知られる。
4. 古期造山帯に属しているため、火山活動はほとんど見られず、標高も1,000メートル程度である。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近隣の有力大学から供給される高度な専門知識を持つ人材や、研究成果をビジネスに活用するベンチャーキャピタルが充実していたこと。	シリコンバレーが発展した大きな理由は、スタンフォード大学などの有力大学から輩出される優秀なエンジニアや起業家が豊富だったことにあります。また、新しい技術やアイデアに対して投資を行うベンチャーキャピタルが多数存在したことで、スタートアップ企業が成長しやすい環境（エコシステム）が整い、世界的なICT関連企業が次々と誕生しました。
問2	答え 1 デンバー	アメリカ合衆国の内陸山岳地帯、ロッキー山脈のふもとに位置するデンバーは、標高が約1,600mと非常に高い場所に位置しています。選択肢にある他の都市のうち、メキシコ湾沿岸のヒューストンや五大湖周辺のシカゴ、大西洋沿岸のニューヨークは、いずれも標高の低い平野部や沿岸部に位置しているため、この条件には当てはまりません。
問3	答え 1 IC（半導体）やソフトウェア開発を中心とした、知識集約型の先端技術産業	シリコンバレーは、従来の重工業とは異なり、高度な技術や専門知識を必要とする「先端技術産業（ハイテク産業）」が集積していることが最大の特徴です。ベンチャーキャピタルによる投資環境も整っており、新しい技術を持つ企業が次々と生まれる仕組み（エコシステム）が形成されています。他の選択肢にある鉄鋼業や自動車工業は、主に五大湖周辺の「スノーベルト」と呼ばれる地域で発達した歴史があります。
問4	答え 1 適地適作	アメリカ合衆国やカナダでは、年降水量500mmや1000mmのライン、および気温の変化に応じて、小麦、とうもろこし、綿花、酪農といった農業地域が明確に分かれています。このように自然の条件を最大限に生かして効率的に生産を行う仕組みを「適地適作」といいます。企業の農業は、大規模な資本を投じて機械化された農業の経営形態を指す言葉であり、仕組みそのものを指す適地適作とは区別されます。
問5	答え 1 関税が撤廃されたことで、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコに工場を進出させた。	自由貿易協定によって輸出入の障壁がなくなったため、アメリカ合衆国の企業は生産コストを抑える目的で、賃金の比較的低いメキシコ国内に多くの組み立て工場（マキラドーラなど）を建設しました。これによりメキシコは北米の主要な工業製品の生産拠点としての役割を強めることになりました。
問6	答え 1 南米南部共同市場（メルコスール）	アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイなどが加盟する経済組織で、域内の関税撤廃などを通じて経済発展を図っています。近年の貿易統計では、かつて主要な貿易相手だったアメリカとの関係だけでなく、資源や農産物の輸出先として中国や日本との結びつきが強化されている点が、現代の南北アメリカ経済の特徴です。
問7	答え 1 適地適作	広大な国土を持つアメリカ合衆国では、地域ごとに気温や降水量が大きく異なります。そのため、それぞれの環境に適した作物を専門的に栽培する「適地適作」という方式がとられており、小麦以外にも酪農、コーン、綿花などの地域（農業地帯）が明確に分かれているのが特徴です。
問8	答え 1 アメリカ合衆国とカナダの国境線の一部となっている北緯49度の緯線と交差している。	ロッキー山脈は、北アメリカ大陸の西側をアラスカから南へと縦断する巨大な山脈です。カナダとアメリカ合衆国の国境の多くは北緯49度の緯線に沿って引かれていますが、ロッキー山脈はこの緯線と交差するようにそびえ立っています。選択肢にある「大陸東側」はア巴拉チア山脈、「南アメリカ大陸」はアンデス山脈の説明です。